

バルドマン スペシャル スチール社による当社アセアン拠点への鋼材供給開始 ～お客様のグローバル競争力向上への貢献、国内の需要変動への対応力強化～

愛知製鋼株式会社（代表取締役社長：藤岡高広）が、2019年から支援してきたインドの特殊鋼メーカーである Vardhman Special Steels Limited^{※1}（本社：インド パンジャブ州 ルディアナ市、代表取締役社長：Sachit Jain、以下「バルドマン」）から、2023年1月より、アセアン鍛造拠点（タイ、インドネシア）への鋼材供給が開始されます。

当社はアセアン地域での競争力向上、インド市場進出および日本国内の激しい需要変動に対応する生産の上方弾力性確保を目的に、バルドマンへの資本参加と現地現物での技術支援を継続的に実施してきました。

今回、バルドマンの品質・生産能力向上により、日系のお客様に満足いただける製品を供給できるようになったことから、当社アセアン鍛造拠点で、バルドマン鋼材を用いて、トヨタグループをはじめとするお客様向けの鍛造品を生産開始します。

当社拠点へのバルドマンからの供給量は、足回りやエンジン、トランスミッション部品向けに、2023年度中に約1万2千トン／年を計画しています。今後、更に生産能力を拡大させ、約3万トン／年の供給を目標として取り組んでいきます。

今後も、更なる生産性向上と対象品種拡大を推進するとともに、バルドマンとの連携を深めることでグローバルでの「鍛鋼一貫^{※2}」体制を強化し、お客様の競争力向上に貢献していきます。

※1 1973年設立。当社は2019年から資本提携・技術支援を実施し、2022年9月には第二期技術支援契約を締結
https://www.aichi-steel.co.jp/news/mt-assets/docs/20220930_news2.pdf

※2 鋼材から鍛造まで一貫して開発・生産できる体制。当社は鍛鋼一貫メーカーとしては世界有数の規模を誇る



バルドマンの鋼材で生産する鍛造品のイメージ（アウトプットシャフト）